



豊能町教育委員会



協定締結10周年

フィルハーモニック・ウインズ 大阪

左から、小川照夫教育長(当時)
木村吉宏名誉音楽監督



令和3年2月8日、豊能町教育委員会とフィルハーモニック・ウインズ大阪は「教育・文化・芸術等の振興に関する協定」を結び、10年が経ちました。

協定締結10周年に寄せて



豊能町長
塩川 恒敏

フィルハーモニック・ウインズ大阪(通称・オオサカン)には、教育・文化・芸術などの振興に関する協定を結んで以来10年の長きに渡り、本町のユーベルホールを拠点としてさまざまなコンサートを開催することで、ユーベルホールの活性化と町の文化振興に大きく貢献していただいております。

毎年恒例のニューイヤークンサートなどメインのクラシックコンサート以外にも、親子を対象としたコンサート(親子ふれあいコンサート)やクリスマスコンサートを開催しており、多くのご家族にご来場いただき、大変好評をいただいております。これは子どもたちが生演奏にふれる貴重な機会でもあり、大人になっても音楽を身近な存在として、気軽にコンサートを楽しまさずかけにもなると言えるでしょう。

現在もなお新型コロナウイルス感染症の影響で、全国各地の様々なイベントが中止・延期されています。オオサカンによるイベントについても、規模を縮小するなど感染症対策を最大限に講じています。今後も来場者のニーズに応える多様なプログラムで多くのファンを獲得し、素晴らしい音楽で観客の皆さまを魅了し、くださったる活躍を期待しております。

オオサカンの理事長であり、正指揮者でもある松尾共哲が今の想いを語る。



10年前に、なぜ豊能町にオオサカンが来るようになったのですか？

当時オオサカンは大阪市内に事務所を構え、公演ごとにリハーサル会場を転々としていました。そんな折、豊能町の社会教育委員をされていた町民の方より、そのお子さまにクラリネットを指導していたのが当団員という縁で、豊能町立ユーベルホールが存続の危機に瀕しているため、ぜひホールを使って欲しいとお話をいただきました。当時音楽監督の木村吉宏先生(現・名誉音楽監督)と相談の上、豊能町立ユーベルホール内に事務所を構え、本拠地として活動させていただく運びとなりました。

その際、豊能町教育委員会と「教育・文化・芸術などの振興に関する協定」を結び、今年で協定締結10周年となります。

早いもので10年経ちましたが、今の想いは？

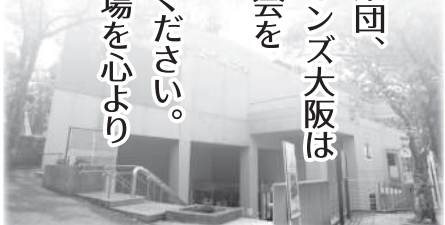
振り返ると色々なことがありましたが、それぞれがとても思い出深いですね。しかし、10年経つたと考えると早かったという思いの方が強いです。オオサカン創立から約20年、豊能町に来る前とほぼ同じ年数を豊能町で過ごしたということに改めて考えると感慨深いですね。豊能町に来てからの10年、オオサカンには演奏面でも運営面でも変化がありましたが、どれも豊能町立ユーベルホールという活動拠点があるからこそその躍進であると感じています。

豊能町、豊能町民の皆さん、本拠地である豊能町立ユーベルホールの印象は？

豊能町民の皆さんには常々私たちの活動にご理解・ご声援をいただき本当に感謝しております。オオサカンとしてこれまで色々な場所で演奏会をしてきたから感じるのですが、豊能町は本当に文化水準が高い町です。

そして拠点にさせていただいている豊能町立ユーベルホールはとても音響効果の優れたホールです。今年亡くなられた名誉音楽監督の木村先生も常々「良いホールや!」とおっしゃっておられました。オオサカンがこれまで招聘してきた、世界中で活躍する音楽器奏者の方々も全員口を揃えて「このホールは最高だ!」と言ってくれます。ホールというものは建てたらすぐに良い音が鳴るといわずにはなく、長い年月をかけ、空気や湿気を吸い、人が移動し、楽器を奏で共鳴することです。豊能町立ユーベルホールの素晴らしさは間違いなく豊能町の皆さまが育ててきたものだと感じています。

これからも、プロフェッショナル吹奏楽団、フィルハーモニック・ウインズ大阪は豊能町でさまざまな演奏会を開催してまいります。ぜひ一度演奏会へお越しください。楽員一同、皆さまのご来場を心よりお待ちしております!



豊能町での
オオサカンの活動を紹介

豊能町立ユーベルホールでは様々な演奏会を開催!

ニューイヤークンサート



プレミアムコンサート



クリスマスコンサート



親子ふれあい
ロビーコンサート



アンサンブルコンサート



など♪

地域催しへも積極的に参加!



ユーベルホールでの
避難訓練コンサート



豊能町成人式 ~はたちのつどい~
▲「豊能町成人式」での演奏



▲毎週月曜日に練習



▲ママブラスの皆さんと
オオサカンの指導者

「とよのまつり」での演奏▶



◀オオサカンの公演での演奏

フィルハーモニック・ウインズ 大阪

平成 11 年に設立。平成 18 年日本初の NPO 法人のプロフェッショナル吹奏楽団となり、平成 23 年に豊能町教育委員会と「教育・文化・芸術等の振興」に関する協定を結び、豊能町立ユーベルホールを本拠地として活動している。いづみホールでの「定期演奏会」を中心に、吹奏楽の新たな可能性を追求し続け、さまざまなレパートリーを意欲的に取り入れた演奏会を多数企画・実施。特に、毎年 11 月に無料開催している「秋の音楽会」には 2000 人を超える聴衆が集まっている。一方、CD レコーディングも積極的に行い、「オオサカン・ライブ・コレクション」や「ええとこどり」シリーズなどが、「月刊レコード芸術」誌において特選盤に選ばれるなど高い評価を受けており、リリースした CD の枚数は 60 枚を超えている。平成 26 年には世界最大のレパートリーを誇るクラシック音楽レーベル NAXOS(ナクソス)より日本の吹奏楽団として初めて CD がリリースされる。

令和 2 年 1 月に自主レーベル「Osakan Recordings」を立ち上げた。平成 21 年に初の海外公演となる「第 14 回世界吹奏楽大会(WASBE)」(アメリカ・シンシナティ)にアジア代表として出演。平成 30 年 5 月に開催された「第 49 回日本吹奏楽指導者クリニック」のファイナルコンサートに出演。また、令和元年 12 月に開催された「第 73 回ミッドウエスト・クリニック」(アメリカ・シカゴ)のファイナルコンサートへ招聘を受け、クリニック史上最高の公演、と称賛を得た。平成 17 年より元大阪市音楽団団長の木村吉宏が音楽監督(現・名誉音楽監督)に、平成 23 年からオリタノボツタがミュージックアドバイザーに、平成 25 年からヤン・ヴァンデルローストが首席客演指揮者に、平成 30 年 1 月に松尾共哲が正指揮者に就任。世界的にもその活躍に注目が集まる交響吹奏楽団である。

映像で詳しく▶▶▶



YouTube



AFF
ARTS for the future

協定締結10周年記念

オオサカン屋下ガリの音楽会シリーズVol.85

特別演奏会

第1部 ~クラシックステージ~

協定締結10周年記念委嘱作品 (世界初演)

エル・カミーノ・リアル

ほか

第2部 ~ポップスステージ~

山口百恵ヒットソング・メドレー

パイレーツ・オブ・カリビアン

ほか

*公演の内容は諸般の事情により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

令和3年

10/17日

午後2時開演
(午後1時30分開場)

豊能町立ユーベルホール

入場料 (全席指定・税込) 当日 500 円増し ※有料会員は当日価格据え置き

座席数は会場収容人数の 50% 以下に制限させていただきます。

▶一般 / 2,500 円 ▶シニア (65 歳以上) / 2,000 円
▶学生 (大学生以下) / 1,000 円 ▶有料会員 / 2,000 円

フリーガイド

豊能町立ユーベルホール 738-7700
営業時間/午前9時~午後5時(火・水・休館日) 休館日は西公民館で販売しております。
セブンイレブン 豊能町ときわ台店 738-8081

チケット
発売中!

主催/豊能町教育委員会、NPO 法人フィルハーモニック・ウインズ 大阪